2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月5日

上場会社名	B-R サーティワン アイスクリーム株式会社	上場取引所	東
コード番号	2268 URL https://www.31ice.co.jp		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 渡辺 裕明	
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員 管理本部長	(氏名) 肥沼 邦幸	TEL 03-3449-0331
定時株主総会開催予定日	2021年3月17日	配当支払開始予定日	2021年3月18日
有価証券報告書提出予定日	2021年3月17日		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の業績(2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	17,441	△9.7	599	16.3	768	△1.1	442	0.7
2019年12月期	19,317	△3.8	515	15.6	777	28.9	439	55.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	45.92	―	4.5	4.3	3.4
2019年12月期	45.59	―	4.6	4.2	2.7

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 ―百万円 2019年12月期 ―百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	17,407	9,752	56.0	1,012.09
2019年12月期	18,259	9,558	52.4	992.00

(参考) 自己資本 2020年12月期 9,752百万円 2019年12月期 9,558百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	3,054	△1,257	△471	2,628
2019年12月期	1,114	△1,487	△719	1,302

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	―	15.00	―	15.00	30.00	289	65.8	3.0
2020年12月期	―	10.00	―	20.00	30.00	289	65.3	3.0
2021年12月期(予想)	―	15.00	―	15.00	30.00		62.8	

3. 2021年12月期の業績予想(2021年 1月 1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,560	10.3	90	―	90	―	40	―	4.15
通期	18,750	7.5	760	26.7	790	2.8	460	4.0	47.74

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	9,644,554 株	2019年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	2020年12月期	8,647 株	2019年12月期	8,608 株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	9,635,921 株	2019年12月期	9,635,965 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績等の概況」をご覧ください。当社は、当決算短信提出後速やかに当社ホームページに決算説明の動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）貸借対照表 …… 5
（２）損益計算書 …… 8
（３）株主資本等変動計算書 …… 11
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 13
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 15
（継続企業の前提に関する注記） …… 15
（未適用の会計基準等） …… 15
（セグメント情報等） …… 16
（持分法損益等） …… 16
（１株当たり情報） …… 17
（重要な後発事象） …… 17

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当期（2020年１月～12月）における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い４月には緊急事態宣言が発出され、外出自粛要請により国内における消費活動が一気に冷え込み、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。５月25日の緊急事態宣言解除を機に個人消費は緩やかに回復しつつあるものの、感染が全国に広がるとともに感染者数も再度急増し、感染拡大に歯止めが掛からず、予断を許さない状況が続いております。

外食業界におきましても、新型コロナウイルスの影響により、４月・５月は多くの店舗が休業や営業時間短縮を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後も店内飲食が減少する一方で、人との接触機会の少ないテイクアウトやデリバリーサービスが増加するなど、消費者のライフスタイル・消費行動が激変しました。一方、インバウンド効果はなくなり、回復の目途が立たない状況にあります。また Instagramや LINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションや、急速に浸透しているキャッシュレスのプロモーションが進化し、業態を越えた顧客の獲得競争が一層激化しています。

このような環境におきましても、サーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“We make people happy.”「アイスクリームを通じて、皆様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ＦＵＮ（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大によるライフスタイルの激変を、逆にビジネス変革の機会と捉え、先ずはお客様や従業員の安全を第一に考えた衛生管理の徹底として工場・店舗における感染防止に取り組むとともに、マーケティング戦略ではバリュー・プロモーションによる集客キャンペーンから持帰り商品中心の訴求への方向転換、デリバリーの拡充、デジタル・サイネージやモバイルオーダーなど店舗のデジタル化、サプライチェーン・マネジメントの最適化、新たな立地における出店、また海外事業への挑戦として台湾やハワイへの出店など、環境の変化に順応したビジネスモデルの再構築を推進し始めました。

当期のマーケティング戦略は、店内が密になりやすい集客型キャンペーンから、自宅で過ごす時間が増えるというライフスタイルの変化に適応したテイクアウト商品の訴求強化に変更いたしました。また、アイスクリーム専門店にしかできない、専門店ならではの魅力的な新フレーバーを毎月投入し、アイスクリームを選ぶ楽しさを提供しております。

この方針に従い、営業施策としてゴールデンウィークや盛夏期の集客キャンペーンを中止するとともに、持ち帰り商品を訴求する「Take Home」キャンペーンに切り替え、バラエティパック、アイスクリームケーキや数量限定販売の「スーパービッグカップ」等のテイクアウト商品の訴求を強化するため、その告知をTVCMに加え400万人の会員を有する当社独自の会員制アプリ「31cLub」やSNSで実施し売上の向上を図りました。

商品については、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンス」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬の季節には温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」、苺の季節には「フレッシュストロベリーサンデー」を販売いたしました。更にアイスクリームケーキも、映画“スター・ウォーズ”最新作の公開に合わせた数量限定商品や「“ディズニープリンセス”パレット６」、「ポケモン パレットケーキ」を発売するなど、ラインナップを強化いたしました。また「ハロウィン」や「クリスマス」商戦でも魅力的なオケージョン商品を販売し、店頭をオケージョン一色に飾り賑わせました。

また、市場環境の変化に対応する店舗戦略として、新規商業施設への出店強化を継続するとともに、立地の多様性にも着目し、大学の学生食堂や社員食堂、野球場や行楽地、水族館やサービスエリアへの出店など消費者とのタッチポイントを増やすよう積極的に取り組み、期末店舗数は1,210店舗と前期末に比べ36店舗増加となりました。

また、デジタル化推進の一環として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入による店頭強化を進めるため店舗改装を40店実施いたしました。

以上の施策を実施いたしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による店舗の休業及び時短営業が影響しアイスクリームの出荷が大幅に減少したなかで、感染拡大防止による生活様式の変化を、ビジネス変革の機会と捉え、キャンペーンを「家族で、おうちで」といった持ち帰り商品を訴求する販売戦略、デジタル戦略等を講じ売上回復を図った結果、当期の売上高は174億41百万円（前期比90.3％）とすることが出来ました。

売上原価はコストコントロールの寄与もあり80億94百万円（前期比87.1％）となり、その結果、売上総利益は93億46百万円（前期比93.3％）となりました。

販売費及び一般管理費は、売上に即した広告宣伝費を含むマーケティング投資の最適化、配送ルートや在庫の最適化による物流費の削減、Webを最大限活用した店舗指導などにより旅費交通費、会議費を大幅に削減するなど、経費管理コントロールを徹底した結果、87億46百万円（前期比92.0％）と前年より８％低減し、営業利益は５億99百万円（前期比116.3％）と前年を上回りました。

また、経常利益は７億68百万円（前年同期比98.9％）、当期純利益は４億42百万円（前期比100.7％）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当期末における総資産は前事業年度末に比べ８億52百万円減少の174億７百万円となりました。これは、主に未収入金の減少（７億81百万円）があったことによるものです。

負債は前事業年度末に比べ10億45百万円減少の76億54百万円となりました。これは、主に前受金の減少（６億47百万円）及び未払金の減少（３億54百万円）があったことによるものです。

純資産は前事業年度末に比べ１億93百万円増加の97億52百万円となりました。これは剰余金の配当が２億40百万円ありましたが、当期純利益が４億42百万円あったため繰越利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、１株当たり純資産は1,012円９銭（前期末比20円９銭増）となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて13億25百万円増加し、26億28百万円となりました。

営業活動から得られた資金は30億54百万円（前期は11億14百万円の獲得）となりました。これは主に税引前当期純利益が７億12百万円、減価償却費が14億23百万円、売上債権の減少が12億92百万円あったことによるものです。

投資活動に使用した資金は12億57百万円（前期は14億87百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が４億74百万円、その他の関係会社有価証券の取得による支出が４億35百万円、無形固定資産の取得による支出が１億69百万円及び長期前払費用の取得による支出が１億63百万円あったことによるものです。

財務活動に使用した資金は４億71百万円（前期は７億19百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払が２億40百万円及び長期借入金の返済による支出が２億30百万円あったことによるものです。

（４）今後の見通し

次期につきましては、店舗出店戦略として大規模ショッピングセンターへの出店を継続して主軸とし、更にアミューズメント・パークや、サービスエリア、大学の学食、社員食堂、温浴施設など閉鎖商圏への特殊店舗の出店も積極的に展開し、新規出店81店、2021年度末店舗数20店純増の1,230店を目標としています。他にも宅配サービスやモバイルオーダー、アイスクリームケーキWEB予約、自動販売機など消費者とのタッチポイント増加を目指します。また既存店舗については、スクラップ＆ビルドやリロケーションを積極的に実施するとともに、改装は年間284店実施し、その内281店へ「デジタル・サイネージ」を導入することを目指しております。

商品戦略では、専門店ならではのユニークで話題性のある魅力的なフレーバーを開発し毎月投入いたします。さらにアイスクリームケーキも新商品を次々と投入し、商品基盤をより一層強化して幅広い顧客層のニーズに対応してまいります。

プロモーション戦略として、テイクアウト商品の充実とともに、人気キャラクターを使用したプロモーション、映画とのタイアップなど、アイスクリーム専門店ならではの楽しくて新しいプロモーションを次々と計画しています。更に10月の「ハロウィン」や12月の「クリスマス」などのオケージョン商戦についても楽しい企画で店頭活性化を図ってまいります。

商品やプロモーションを拡散するコミュニケーション戦略としては、アイスクリームケーキやテイクアウト商品のTVCMを投下し、持ち帰り需要の掘り起こしを図ります。またスマートフォンのアプリ「31cLub」、TwitterやLINEなどのSNSでの発信をより一層強化してまいります。

一方で、新型コロナウイルス感染症再拡大により、一部都府県において「緊急事態宣言」が先月から再び発出されて予断を許さず、時短営業等の対応は引き続き不可避なことと考えております。それでも、感染症の影響で一時休業を余儀なくされる店舗は発生することがなく、期を通して営業継続することが出来、事業活動への影響は当期と同水準に収まるものと予想しております。

以上を踏まえ、次期の見通しにつきましては、売上高187億50百万円、営業利益７億60百万円、経常利益７億90百万、当期純利益４億60百万円を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針です。

なお、国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,302,815	2,628,748
売掛金	3,258,104	1,965,290
製品	837,458	880,898
原材料	460,548	467,877
貯蔵品	348,901	305,014
前渡金	140,634	190,772
前払費用	296,289	251,709
未収入金	1,138,935	357,504
その他	67,092	92,888
貸倒引当金	△51	△83
流動資産合計	7,850,728	7,140,621
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,147,653	4,175,020
減価償却累計額	△1,818,249	△1,971,072
建物（純額）	2,329,404	2,203,947
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	△233,782	△252,710
構築物（純額）	203,917	184,989
機械及び装置	4,076,259	4,116,172
減価償却累計額	△2,740,807	△2,973,388
機械及び装置（純額）	1,335,452	1,142,784
賃貸店舗用設備	4,771,118	4,858,303
減価償却累計額	△2,759,928	△3,003,443
賃貸店舗用設備(純額)	2,011,189	1,854,860
直営店舗用設備	101,971	92,407
減価償却累計額	△65,948	△62,708
直営店舗用設備(純額)	36,023	29,698
車両運搬具	61,298	58,815
減価償却累計額	△40,441	△35,371
車両運搬具（純額）	20,856	23,443
工具、器具及び備品	683,676	680,907
減価償却累計額	△511,994	△548,883
工具、器具及び備品（純額）	171,682	132,023
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	858	9,811
有形固定資産合計	6,804,748	6,276,921
無形固定資産		
ソフトウエア	562,374	556,367
ソフトウエア仮勘定	3,342	1,000
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	582,781	574,433

（単位：千円）

	前事業年度 （2019年12月31日）	当事業年度 （2020年12月31日）
投資その他の資産		
投資有価証券	86,555	78,298
その他の関係会社有価証券	－	435,461
従業員に対する長期貸付金	1,911	778
破産更生債権等	127,524	107,702
長期前払費用	495,296	407,189
繰延税金資産	125,882	184,781
敷金及び保証金	2,193,206	2,207,101
その他	16,475	16,475
貸倒引当金	△25,731	△22,548
投資その他の資産合計	3,021,120	3,415,241
固定資産合計	10,408,650	10,266,595
資産合計	18,259,379	17,407,217

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	491, 937	486, 084
1年内返済予定の長期借入金	230, 012	230, 012
未払金	1, 944, 768	1, 590, 737
未払費用	40, 592	71, 592
未払法人税等	191, 524	209, 411
未払消費税等	34, 111	54, 548
前受金	2, 281, 529	1, 633, 793
預り金	176, 265	161, 463
賞与引当金	45, 064	57, 032
役員賞与引当金	4, 000	26, 000
ギフト券回収損失引当金	221, 276	296, 704
資産除去債務	－	4, 242
その他	48, 841	50, 458
流動負債合計	5, 709, 925	4, 872, 080
固定負債		
長期借入金	1, 434, 118	1, 204, 106
退職給付引当金	81, 529	92, 711
役員退職慰労引当金	101, 300	89, 200
資産除去債務	124, 677	120, 401
長期預り保証金	1, 248, 996	1, 276, 309
固定負債合計	2, 990, 621	2, 782, 728
負債合計	8, 700, 546	7, 654, 808
純資産の部		
株主資本		
資本金	735, 286	735, 286
資本剰余金		
資本準備金	241, 079	241, 079
資本剰余金合計	241, 079	241, 079
利益剰余金		
利益準備金	168, 676	168, 676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	35, 844	32, 177
別途積立金	4, 140, 000	4, 140, 000
繰越利益剰余金	4, 248, 541	4, 453, 756
利益剰余金合計	8, 593, 063	8, 794, 610
自己株式	△17, 083	△17, 235
株主資本合計	9, 552, 344	9, 753, 740
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6, 488	△1, 331
評価・換算差額等合計	6, 488	△1, 331
純資産合計	9, 558, 832	9, 752, 408
負債純資産合計	18, 259, 379	17, 407, 217

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年１月１日 至 2019年12月31日）	当事業年度 （自 2020年１月１日 至 2020年12月31日）
売上高		
製品売上高	14,813,345	13,340,350
ロイヤリティー収入	3,443,491	3,071,717
店舗用設備賃貸収入	1,061,156	1,029,033
売上高合計	19,317,993	17,441,102
売上原価		
製品期首たな卸高	750,395	837,458
当期製品製造原価	8,866,254	7,551,480
合計	9,616,650	8,388,938
他勘定振替高	93,194	18,847
製品期末たな卸高	837,458	880,898
製品売上原価	8,685,997	7,489,191
店舗用設備賃貸原価	612,750	605,528
売上原価合計	9,298,748	8,094,719
売上総利益	10,019,245	9,346,382
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,429,531	1,267,062
広告宣伝費	2,365,174	1,976,266
ロイヤリティー	191,675	161,586
賃借料	465,601	468,058
給料手当及び賞与	1,092,562	1,164,321
賞与引当金繰入額	31,624	43,144
退職給付費用	△10,609	69,809
役員退職慰労引当金繰入額	15,400	9,900
雑給	123,065	96,613
販売促進費	1,041,937	948,097
店舗対策費	467,764	466,037
減価償却費	436,709	409,549
貸倒引当金繰入額	△1,763	1,279
その他	1,854,733	1,664,732
販売費及び一般管理費合計	9,503,408	8,746,457
営業利益	515,836	599,924

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年１月１日 至 2019年12月31日）	当事業年度 （自 2020年１月１日 至 2020年12月31日）
営業外収益		
受取利息	757	329
店舗用什器売却益	44,089	24,104
販売済未使用ギフト券収入	236,420	272,808
受取ロイヤリティー	16,771	11,499
受取報奨金	40,740	9,090
その他	20,599	14,882
営業外収益合計	359,378	332,715
営業外費用		
支払利息	16,140	14,247
店舗設備除去損	20,938	33,664
ギフト券回収損失引当金繰入額	59,309	115,551
その他	1,619	680
営業外費用合計	98,007	164,144
経常利益	777,207	768,495
特別利益		
固定資産売却益	563	－
特別利益合計	563	－
特別損失		
固定資産売却損	－	1,060
固定資産廃棄損	28,052	55,054
災害損失	2,117	－
特別損失合計	30,170	56,115
税引前当期純利益	747,600	712,379
法人税、住民税及び事業税	300,153	325,382
法人税等調整額	8,171	△55,447
法人税等合計	308,324	269,934
当期純利益	439,276	442,445

製造原価明細書

		前事業年度 (自　2019年１月１日 至　2019年12月31日)		当事業年度 (自　2020年１月１日 至　2020年12月31日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
Ⅰ　材料費		6,742,248	76.0	5,430,095	71.9
Ⅱ　労務費		937,145	10.6	1,022,965	13.5
Ⅲ　経費	※２	1,186,860	13.4	1,098,419	14.6
当期総製造費用		8,866,254	100.0	7,551,480	100.0
当期製品製造原価		8,866,254		7,551,480	

（注）※１　当社の原価計算の方法は、実際原価による総合原価計算であります。
※２　主な経費の明細

		前事業年度 (自　2019年１月１日 至　2019年12月31日)	当事業年度 (自　2020年１月１日 至　2020年12月31日)
区分		金額(千円)	金額(千円)
減価償却費		414,087	410,010
電力料		141,914	124,448
機械維持修繕費		135,942	118,250
工場消耗品費		94,402	89,833
運賃		58,644	48,174
その他		341,868	307,701
合計		1,186,860	1,098,419

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自　2019年１月１日　2019年12月31日)

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	735,286	241,079	241,079	168,676	39,512	4,140,000	4,094,676	8,442,866
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩					△3,667		3,667	－
剰余金の配当							△289,079	△289,079
当期純利益							439,276	439,276
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	－	－	△3,667	－	153,864	150,197
当期末残高	735,286	241,079	241,079	168,676	35,844	4,140,000	4,248,541	8,593,063

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△16,893	9,402,337	154	154	9,402,492
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		－			－
剰余金の配当		△289,079			△289,079
当期純利益		439,276			439,276
自己株式の取得	△190	△190			△190
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			6,333	6,333	6,333
当期変動額合計	△190	150,006	6,333	6,333	156,340
当期末残高	△17,083	9,552,344	6,488	6,488	9,558,832

当事業年度(自　2020年１月１日　2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	735,286	241,079	241,079	168,676	35,844	4,140,000	4,248,541	8,593,063
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩					△3,667		3,667	-
剰余金の配当							△240,898	△240,898
当期純利益							442,445	442,445
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△3,667	-	205,214	201,547
当期末残高	735,286	241,079	241,079	168,676	32,177	4,140,000	4,453,756	8,794,610

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△17,083	9,552,344	6,488	6,488	9,558,832
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		-			-
剰余金の配当		△240,898			△240,898
当期純利益		442,445			442,445
自己株式の取得	△151	△151			△151
株主資本以外の項目の当期変動額（純額)			△7,819	△7,819	△7,819
当期変動額合計	△151	201,395	△7,819	△7,819	193,575
当期末残高	△17,235	9,753,740	△1,331	△1,331	9,752,408

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年１月１日 至 2019年12月31日）	当事業年度 （自 2020年１月１日 至 2020年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	747,600	712,379
減価償却費	1,410,994	1,423,829
固定資産売却損益（△は益）	△563	1,060
固定資産廃棄損	28,052	55,054
災害損失	2,117	－
店舗用什器売却益	△44,089	△24,104
販売済未使用ギフト券収入	△121,655	△195,035
店舗設備除去損	20,938	33,664
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,763	△3,150
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,689	11,967
ギフト券回収損失引当金の増減額（△は減少）	34,889	75,428
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△85,190	11,182
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	15,400	△12,100
受取利息	△757	△329
支払利息	16,140	14,247
売上債権の増減額（△は増加）	△54,466	1,292,813
破産更生債権等の増減額（△は増加）	12,340	19,822
たな卸資産の増減額（△は増加）	87,943	10,447
仕入債務の増減額（△は減少）	△88,630	△5,853
前渡金の増減額（△は増加）	△99,862	△50,137
前払費用の増減額（△は増加）	△11,647	44,579
未収入金の増減額（△は増加）	△986,570	781,430
未払金の増減額（△は減少）	427,946	△397,701
前受金の増減額（△は減少）	4,551	△647,736
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	1,000	22,000
預り金の増減額（△は減少）	13,798	△14,801
未払消費税等の増減額（△は減少）	△9,459	20,436
その他	89,499	189,469
小計	1,411,247	3,368,862
利息及び配当金の受取額	2,025	1,891
利息の支払額	△12,590	△10,514
災害損失の支払額	△278	－
法人税等の支払額	△285,722	△306,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114,680	3,054,185

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年１月１日 至 2019年12月31日）	当事業年度 （自 2020年１月１日 至 2020年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,047	△3,014
その他の関係会社有価証券の取得による支出	－	△435,461
有形固定資産の取得による支出	△865,543	△474,581
無形固定資産の取得による支出	△368,191	△169,515
長期前払費用の取得による支出	△260,525	△163,386
敷金及び保証金の差入による支出	△77,457	△87,183
敷金及び保証金の回収による収入	54,811	45,982
預り保証金の受入による収入	77,036	92,659
預り保証金の返還による支出	△44,860	△62,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,487,778	△1,257,158
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	500,000
短期借入金の返済による支出	－	△500,000
長期借入金の返済による支出	△430,204	△230,012
自己株式の取得による支出	△190	△151
配当金の支払額	△289,069	△240,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719,463	△471,094
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,092,561	1,325,932
現金及び現金同等物の期首残高	2,395,376	1,302,815
現金及び現金同等物の期末残高	1,302,815	2,628,748

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（未適用の会計基準等）

・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号　2020年３月31日）
・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号　2020年３月31日）

(1)概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の５つのステップを適用し認識されます。

ステップ１：顧客との契約を識別する。
ステップ２：契約における履行義務を識別する。
ステップ３：取引価格を算定する。
ステップ４：契約における履行義務に取引価格を配分する。
ステップ５：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2)適用予定日

2022年12月期の期首より適用予定であります。

(3)当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自　2019年１月１日　至　2019年12月31日)

１．製品及びサービスごとの情報

当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1)売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90％を超えるため、記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の90％を超えるため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10％を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自　2020年１月１日　至　2020年12月31日)

１．製品及びサービスごとの情報

当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、記載を省略しております。

２．地域ごとの情報

(1)売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90％を超えるため、記載を省略しております。

(2)有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の90％を超えるため、記載を省略しております。

３．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10％を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

項目	前事業年度 （自　2019年１月１日 至　2019年12月31日）	当事業年度 （自　2020年１月１日 至　2020年12月31日）
１株当たり純資産額	992円00銭	1,012円09銭
１株当たり当期純利益金額	45円59銭	45円92銭

（注）１　潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

２　１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 （自　2019年１月１日 至　2019年12月31日）	当事業年度 （自　2020年１月１日 至　2020年12月31日）
１株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	439,276	442,445
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	439,276	442,445
期中平均株式数(株)	9,635,965	9,635,921

（重要な後発事象）

該当事項はありません。